

会議録

会議の名称	男女平等推進センター企画運営委員会 平成26年度 第5回
開催日時	平成26年11月10日（月曜日） 午後6時から午後8時15分まで
開催場所	男女平等推進センター1階活動室
出席者	委員：吉田委員長、白井副委員長、齋藤(三)委員、田崎委員、本橋委員、長坂委員、斎藤（博）委員 欠席：加藤委員 事務局：日下部課長補佐、杉山主査
議題	(1) 第4回企画運営委員会会議録の承認について (2) 平成26年度事業について (3) 情報誌パリテの編集について（14号初校の特集記事等） (4) 平成27年度事業について (5) 今後の会議日程について
会議資料の名称	第4回企画運営委員会会議録（案） 西東京市男女平等推進センター企画運営委員会事業年間計画書（案） パリテ14号初校 西東京市男女平等推進センター登録団体一覧 西東京市第3次男女平等参画推進計画・西東京市配偶者暴力対策基本計画（概要版）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>(開会)</p> <p>1 議題</p> <p><u>(1) 第4回企画運営委員会会議録の承認について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・齋藤(三)委員の(三)が(美)になっている。訂正をお願いする。 ・そのほかには異議なしで承認する。 <p><u>(2) 平成26年度事業について</u></p> <p>事務局： ガールライジング映写会、気持ちを楽にするストレス対処法の実績報告及び「てしごとカフェ」の予定回数増の提案。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に異議無し。 <p><u>(3) 情報誌パリテの編集について(14号初校)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・特集のテーマが解りにくいので、「ワーク・ライフ・バランスを実現するために」の文言を記載する。 ・表紙の文字フォントを変更する。 	

・パリテだよりについては、今後、情報誌での取り扱いはどのようになるか。事業報告としての性格の他、情報誌の発行時期外での情報提供の補完的役割があった。

事務局：

平成27年度の発行サイクルを9月・3月にして、9月は情報提供を充実、3月号はパリテだよりを事業報告と啓発記事の掲載とする方針を後程提案したい。

- ・現14号の構成としては堅苦しさが目立つ。さらに上期下期という表現は取り外した方がよい。事業報告という文言も固いイメージを与える。
- ・たより自体は、いろんな意味で使える言葉だと考えられる。事業報告はあっても良い。
- ・情報誌中のパリテだよりについて、コーナーの意味付けを考えると見出しにリード文を挿入することとしたい。
- ・パリテだよりの写真が気になるので、他の候補を検討されたい。

・イクボスという言葉の興味から特集記事の取材をしたところ、「佐藤先生からイク（育児）だけではだめでしょと、ワーク・ライフ・バランス（WLB）を推し進める管理職(ボス)が、これからは必要なんだ」ということを提唱された。今号の特集のテーマはそのことを意図しているものと捉えたい。なお、ボスという言葉は、日本ではどちらかというと男性に偏る傾向があるので、良い管理職と理解されたい。

- ・文中にWLBが多用されるが解りづらい。ワーク・ライフ・バランスを強調する。
- ・プロフィールが解りづらい。先生にお諮りして工夫をする。
- ・対談形式の表現が残っているが、文章表現としては少し違和感があるので別表現で表記する。
- ・感想としては、ここで提唱する論点と現実とにギャップがある。啓発するという意味では、意義は見いだせるがどれだけ効果があるか。もう少し現実を見ていく感があっても良いように思うが。
- ・3頁のイラストを再検討してもらいたい。
- ・事業報告の4頁アラ還世代の男塾でのリード文の表現で貴重な人材と個々に埋没は不要だと思う。
- ・自分も埋没をしていたので気にはしないが、別表現の方がよい気はする。
- ・「孤立することなく」にしたい。
- ・参加者数について、表記の方法を延べ人数とする。
- ・7頁ステキにのタイトルイラストで西東京が小さすぎる。
- ・「イクジイ」とはの「おじいさんのこと」を「ジイジです」に変える。
- ・ライブラリーの書評を以前にも提案したが、バランスが悪いので字数を守ること。
- ・登録団体紹介のI女性会議のIはアルファベット筆記体の(アイ)に訂正する。

(4) 平成27年度事業について

事務局：

説明

平成27年度男女平等推進センター企画運営委員会事業年間計画書（案）に従い、委員会の開催回数及び検討課題、講座（基礎・共通・週間事業）の回数及び企画提案予定、情報誌の発行月の変更と編集業務の確認。

・計画に方針を入れることは可能か。今回の連続講座経験者が、新しい委員へとつながった経過をみると、講座を打ちっぱなしにするのではなく、受講後の対応を位置づけてなんらかの市民活動を支援する内容とする。例えば、ノバディーズ・パーフェクト講座を27年度企画提案事業として、再検討することになっているが、その講座の後のフォローを実施する。あるいは、てしごとカフェのような取り組みを発展させていくことにより、自主的なグループ形成を支援していくといった活動を27年度方針として計画に表現する必要がある。

事務局：

27年度に三市連携事業を実施するため、三市で市長会に補助金申請をしており、それが採択されると企画提案事業との関連性が出てくる。27年度のメインテーマとして男性の活動と終活を扱う予定でいるが28年度に展開される予定のテーマに、防災を入れることを検討している。西東京市として、それがあるとないと関わらずではあるが計画の重点課題でもある、防災を次年度のテーマの一つとしたいと考えている。27年度方針としてこれらも含めて、次回までに案を作る必要があると思われる。

(5) 今後の会議日程について

次回日程について、12月11日（木曜日）とする。

（閉会）